

# 第65回北海道書道展 公募要項・出品規定

公 募 要 項	1.展覧会	【会員・公募展】 2024年4月30日(火)～5月5日(日・祝) 札幌市民ギャラリー(中央区南2東6) 【招待・会友展】 2024年5月7日(火)～12日(日) 札幌市民ギャラリー (入場料(税込))当日券 500円、前売券 300円 ※両展覧会共通(両展を各1回ご覧いただけます)、高校生以下無料
	2.部門	<b>第1部</b> 漢字(3字以上、写経含む) <b>第2部</b> 大字書(1字、2字の漢字) <b>第3部</b> かな <b>第4部</b> 詩文書 <b>第5部</b> 墨象・前衛 <b>第6部</b> 篆刻・刻字
	3.鑑審査・賞	公募作品は会員によって鑑審査を行い、入選者には入選証を贈る。ただし、第64回展特選受賞者は、当該部門に限り無鑑査とする。入選作品の中から、優秀作品には特選、秀作を贈り、作品写真を作品集に掲載する。23歳以下の特選受賞者には、あわせてU23奨励賞を贈る。
	4.発表	3月下旬に出品者全員に成績を通知するほか、入選入賞者は4月中～下旬に北海道新聞紙上で発表する。
	5.表彰式	表彰式 5月4日(土)午後1時～ 道新ホール 祝賀会 〃 午後3時30分～ 札幌グランドホテル
	6.その他	<b>出品者は出品規定、鑑審査および展示について異議を申し立てることが出来ない。</b>
出 品 規 定	1.出品資格	満16歳以上(生年月日が2008年4月1日以前の者)。道内在住者または道内在住経験者。
	2.出品作品、表装	未発表のものに限る。作品を裏打ちする台紙は、下記の指定取扱店(表具店)が指定したのものに限る。帯、枠を入れるなどの装飾を含め、作品への表装は一切認めない。作品に鉛筆での氏名記入をしない。
	3.作品の形式	作品はすべて裏打ちのまま鑑審査を受ける。
	4.出品点数	各部門とも1人2点までとする(2点とも同じ指定取扱店に提出すること)。 ※ただし、入選・入賞は1点のみとなる。
	5.作品の大きさ(作品本紙の大きさ)	Ⓐ 70センチ×136センチ以内(全紙) Ⓑ 55センチ×175センチ以内 Ⓒ 88センチ×88センチ以内 Ⓓ 篆刻は24.5センチ×36センチ以内 ※印影のみ出品のこと Ⓔ 刻字は2754平方センチ以内(一辺の長さは91センチ以内)
	6.作品締切	<b>2024年2月28日(水)までに</b> 下記指定取扱店へ <b>出品料とともに</b> 届けること。(厳守)
	7.出品料(税込)	◎出品料には裏打ち代・取扱店手数料が含まれる。下記指定取扱店へ納入すること。 ① 24歳以上79歳以下 1点につき14,000円。同一部門2点出品者は2点目7,000円。 ② 80歳以上 1点につき10,000円。同一部門2点出品者は2点目7,000円。 ③ 19歳以上23歳以下 1点につき10,000円。同一部門2点出品者は2点目7,000円。 ④ 16歳以上18歳以下 1点につき 5,000円。同一部門2点出品者は2点目5,000円。 ※年齢は <b>2024年4月1日現在の満年齢</b> 。
	8.添付書類	<b>出品票(コピー不可) ※第63回展、第64回展に出品された方は指定の出品票Ⓐ</b> (出品者の氏名やバーコードなどが印字されたもの)を使用すること。紛失などで出品票が必要な場合は、事務局までご連絡ください。
	9.展示	全入選・入賞作品は貸枠装のうえ展示する。 <b>貸枠料10,000円(作品サイズⒷは11,000円、篆刻は4,500円)は別納</b> とし、 <b>4月1日から4月22日までに指定取扱店に納入</b> すること。装丁によって追加料金がかかる場合がある。詳しくは指定取扱店に問い合わせること。また、特選作品の一部が移動展に回ることがある。 ※料金は税込
	10.移動展	入選・入賞し移動展出品を希望する場合は、出品票の「移動展希望会場欄」に記入すること。移動展出品手数料を取扱店に納入すること。手数料は1会場につき3,300円(第6部は1,100円)、函館展は手数料のほかに2,000円の協賛金が必要。 ※料金は税込 <函館展>6月28日(金)～7月4日(木) 道立函館美術館 <網走展>7月13日(土)～8月4日(日) 網走市立美術館 ※追加申込は4月18日(木)までに事務局と取扱店に連絡すること。
	11.その他	・上記出品規定に沿わない場合は受け付けない。 ・作品の保管は5月末日までとし、その後の責任は負わない。(移動展出品者は8月末日まで) ・返送希望の場合は返送手数料2,500円(税込)を出品料と同時に納入すること。 ・発表、賞状、名札は出品票の姓号、字体を使う。ただし、新聞発表の際は常用漢字に直すこともある。
指定取扱店	・京美堂 〒005-0021 札幌市南区真駒内本町3丁目7-12 TEL・FAX011-581-6661 ・昌文堂 〒001-0011 札幌市北区北11条西4丁目2-23 TEL011-746-5221 FAX011-746-2070 ・日成堂 〒064-0922 札幌市中央区南22条西9丁目アートパレス2階 TEL011-561-9074 FAX011-561-3981	

## 招待作家

中野 北溟

## 招待会員

我妻 緑巢 今多 錦鳳 岩村 遊希 宇野 雉洞 奥村 素紅 長内 敬子 小田島美翠  
加藤 幸道 北川 稲谷 君 庸子 熊川 景子 斉藤 香月 酒井 精舟 島田 一嶽  
島田 青丘 白土 恵香 新谷 谿雪 杉山 透雪 大門 玉泉 高橋 静峯 高畑美智子  
竹内 津代 竹浪 翠堂 田中 翠甫 千鶴 敏子 椿澤 雷鷲 中嶋 香苑 中野 歸山  
中野 層翠 原田 示峰 伴 恵美子 東志 青邨 深江 京州 松本 暎子 水上 祥邦  
水野 松雪 八巻 水鷗 山田 太虚 山本 玉沙

## 会員

※審査は当番審査員(〇印)によって行われます

<第1部 漢字>(48人)

飯塚 大海 〇石井 翠星 石田 壺城 井上 夕霞 井村 啓達 大橋 静琴 加藤 青園  
亀岡 芳扇 〇木村 翠苑 〇國澤 翠風 〇小原 藝城 〇小原 道城 近藤 紫陌 〇桜居 玉香  
佐々木香流 佐藤 幸葉 佐藤 翔雲 島田美紀子 島本 松籐 〇清水 謙語 鈴木 紅舟  
鈴木 繁樹 〇清野 春荘 高橋 素香 〇竹村 節子 〇出村 太幹 〇永原 博子 中村 懐玉  
〇浪田 美芳 成田 成峰 〇橋本 圭風 〇長谷川大雅 〇服部 柚香 〇早坂 壺陽 樋田 香雪  
〇平井 翠雪 〇福田 遥岑 〇藤本 清泉 本間 太洲 〇松山 朴羊 水間 臥猪 宮沢 爽光  
〇山内 虹苑 山内 太鶴 吉岡 静風 和田 遙花 〇渡辺 美鴻 渡辺 美明

<第2部 大字書>(37人)

〇青木 空豁 〇石澤 俊介 太田 欽舟 小笠原紅華 〇小川 博水 奥家 秀岳 〇加藤 東虹  
鎌田 珠泉 河端 桃香 〇河村 遊霞 清兼 吼 〇久保田朴雲 小林 慶風 小林 聖鳳  
駒澤 静秀 今野 冲岳 椎名 恵舟 〇嶋津 玉泉 高橋 祥雲 高橋 伸厚 高橋 竜平  
〇瀧野 喜星 〇土坂 悠心 西田 真洲 〇野中 竹峰 〇羽毛 蒼洲 〇細川 貴久 〇本間孤峯正啓  
〇松永 律子 〇三橋 啓舟 〇湊 蒼玄 山崎 大寒 〇山田 起雲 吉田 晴賀 〇吉見 奎鳳  
渡邊 層山 〇渡部 天外

<第3部 かな>(36人)

〇明石 郁子 阿部和加子 〇大川壽美子 押上万希子 〇小野木沈香 〇加藤紀久子 北 彰子  
〇木村 征子 〇草薙 正子 〇紅林 幸子 河内 栄子 佐々木公江 〇佐々木優子 〇佐藤 伸子  
下村 美穂 〇東海林淳子 菅原 京子 〇鈴木 竹華 関 祐子 竹内 松韻 竹本 きみ  
〇千葉 和子 寺田 千秋 土井 一剛 長岡真貴子 長佐古良子 滑志田方苾 〇二階堂友美  
〇野田恵美子 〇乗木美穂子 〇福本 恭子 前川悠紀子 前田 里恵 眞木千賀子 〇村田ゆかり  
〇山田 香園

<第4部 詩文書>(64人)

〇相澤 太煌 秋山 翠聲 〇阿部 寿山 〇在田 佳子 〇安保 天壽 井川 静芳 石原 北陽  
磯波 水鈴 市橋佐代子 伊藤 紫園 遠藤 香峰 〇大泉 堅治 〇大川 一濤 大川 宣子  
大高 蒼龍 〇小野 陽子 〇葛西 青龍 〇加藤 正叙 〇金谷 紅麟 〇川原 薫 清本 和子  
〇小林 融之 〇斎藤 大麓 〇櫻井 九晨 品田 國子 上西 弘美 〇杉山 歌子 鈴木 大有  
〇須田 廣充 〇大上 凌胡 高橋 魁山 〇高橋 海堂 瀧野 時雪 〇田中真喜子 植本 祥芳  
出村 耕山 〇天満 篤子 東藤 義文 〇飛世 智恵 中上ゆかり 中河 濤人 中川 蘆月  
新井山蘭牛 西 恵翠 〇袴田 瞳 橋本 聳山 〇畠山 紫香 〇東方 鳳山 〇古谷 玄山  
〇籙 宥行 松岡 一真 〇溝 掬水 〇宮岡 蝶溪 宮崎 騎洋 茂垣 回歸 茂呂 小袖  
〇大和 鳥啼 山元 昭子 〇横山 晃秀 〇吉川 海夏 吉川 海斗 〇吉田三枝子 吉野 祥琴  
〇渡邊 抱雲

<第5部 墨象・前衛>(23人)

〇在間 實 〇安藤 小芳 〇上戸 抱山 〇太田 秋源 〇菊地 紀仁 〇北川 和彦 〇木村 蒼人  
〇木村 大猷 〇小嶋 康博 〇佐々木信象 〇塩崎 艸 〇白石 弥生 〇高橋 蘇山 〇竹下 青蘭  
〇寺島 春代 〇野坂 武秀 〇三上 雅倫 〇三上 山骨 〇三上 禮子 〇湊 天邦 〇湊 久子  
〇八重柏冬雷 〇山崎 光雲  
<第6部 篆刻・刻字>(8人)  
〇飯田 邦生 〇太田 幽琳 〇上山 天遂 北濱 希石 〇小泉 和雄 〇越坂 久雄 〇下山 遼堂  
〇水島 栄美

(50音順・敬称略、2023年11月30日現在)

## 主催 北海道新聞社

後援 北海道 北海道教育委員会 札幌市 札幌市教育委員会 北海道書道連盟

事務局 〒060-8711札幌市中央区大通西3丁目6 道新文化事業社内  
TEL011-241-5161、FAX011-232-5147  
(月～金10:00～17:00、土・日、祝日、年末年始は12月23日から1月3日まで休み)  
URL https://doshin-bj.jp